## 作文コ 「家庭の日

毎月第3日曜日を 作文コン -ルを実施したとこ 「家庭の日」 「家庭の日」 次の皆さんが入賞しました (敬称略)。 生涯学習課 **(2**62-1036)

## 父の手 最優秀 (6人)

「とどけ!わたしのプレゼント」 石原好 (小垣江東小5年) 「僕のおじいちゃん」兵藤煌輝(富士松中3年 「お寺の子に生まれて」日下専浄(衣浦小4年 私の祖父」城野若沙(依佐美中1年) あふれた思い」柴田あおい(小垣江東小6年 父の温もり」近藤彩芙(雁が音中2年)

## 日じょうの大切さ」角岡優衣

[優秀] (6人)

安藤花恋・吉本依里(富士松南小)、大山陽南・大脇鳴桜(富 伊藤夏那・二宮悠輝・池田來聖 柴田華奈 高小)、鈴木葵子·杉浦茉弥(衣浦小)、尾嶋晟·佐藤匠真 角谷虹奈(小高原小)、小林瑞希・三浦叶翔・原匠吾(日 加藤里奈海・福田芽唯 家族の明るい未来のために」松原里紗 強い祖父」田中宥那(刈谷東中2年 想いのこもったおにぎり」近藤彩扶真(かりがね小6年) おみそねかせ中」内田敦也 51 人 (住吉小)、水野樹里·髙須亮成 (亀城小)、蔵満咲南·川口源太郎 (富士松北小5年 (東刈谷小4年) (平成小)、安藤こはる (依佐美中3年 (かりがね小)

## おじ ちゃん 富士松中学校3年

僕が生まれるより前からで、 特定疾患に指定されている「重症筋無力症」 由で日常生活に杖や車椅子が欠かせない。 他にも色々な病気をもっていて、 い。ご飯を食べただけでも疲れてしまう。 という筋肉の病気で、 かかってからもう二十年近くなる。 僕の祖父は、 今年で七十五歳だ。 人より疲れるのが早 初めの病気に 体が不自

見て、祖父はニコニコしていた。 まった。祖父からの誘いもない。 ていた。今の僕はゲームをする方が楽しく 父がミスをして僕が勝っても、ニコニコし なかなか祖父に勝てなくて、悔しがる僕を したり、ご飯の後に台所で対戦したりした。 いた。休みの日の昼間に祖父の部屋で対戦 僕が小学生の頃は、 祖父と将棋をすることもなくなってし 祖父と将棋で遊んで たまに祖

もある。 病院へ行ったまま入院になったりしたこと 治療のためだったり、 この三年で、 祖父は何度も入院している。 救急車で運ばれて、

最近の祖父は特に体が弱ってきて、

\_ \_

態で僕とすれ違う機会も少なくなった。 た。一緒に住んでいても、祖父が立った状 らいだ。将棋をしていた頃は祖父より小さ 中寝てばかりで、 かった僕の背は、祖父を見下ろすほどになっ へ行く時か、ご飯を食べに台所に来る時く 部屋から出るのはトイレ 以

谷南中)、木下ほたる・近藤礼菜(刈谷東中)、

本泉佳寛 刘

富士松中)、村上颯・前山結奈(雁が音中)、江坂茉奈

岡本理希・尾間すず・稲垣和波

(朝日中)

佐美中)、

野崎真央・下村航(東刈谷小)、川崎真依加・伊坂彩登

杉浦千紗季(朝日小)、森田篤生·藪井柚季·小笠原楓

寺澤悠翔・毛内彩乃・北瑠葵亜(小垣江小)、山本麗翔 士松北小)、前田大雅·竹内彩晴·近藤舞陽(富士松東小)、

(小垣江東小)、雨森凪紗·平野尋惟·田中愛羽(双葉小)、

祖父は 裕がないほどに元気がない。 と、言っていたのに、 「また大きくなったか?」 今の祖父は僕を見る余 そして、

ど喋らない

ているだけでもマシかもしれない。 力が付くはずもなく、食べられるものを食べ ものと言えば、 からだ。体力がないから暑さに弱い。 の暑さで参ってしまうのだ。 食べるようになった。台所まで移動する廊下 だ。食べる量が減って、痩せ細ってしまった 今年の夏の入院後の祖父は、 そうめん、 冷むぎ、 それもそのはず ご飯を部屋で お寿司。

できるのだろう。ふと、そう思った。 ら一緒に見た。いつもの祖父の席から花火は 見た。年に一度、コロナ以来の元通りの花火 父は後何回わんさか祭りの花火を見ることが の椅子を花火が見える位置に移動させた。 見えづらかったので、祖母とお母さんで祖父 大会だ。祖父も部屋から出てきて台所の窓か 先日のわんさか祭りの花火を家族みんなで

とだろうか。僕は今年受験生だから、勉強の げられるだろう。 も、何度か誘ってみよう。祖父には是非とも、 屋に行ってみようか。体調が悪くて断られて 合間に、将棋の駒と将棋台を持って祖父の部 てあげられるのは、もう一度、将棋をするこ 状をよくしてあげることはできない。 僕の高校の制服姿を見てもらいたいんだ。 徐々に弱っていく祖父に、僕は何をしてあ 医者じゃないから祖父の症

輝

ほとん